

# リトアニア政治・経済月間情勢(9月)

## 概況

- カリーニングラードとの国境で、事前通告及び正式な説明なしにロシア税関職員によるリトアニア車両への差別的検査が開始された。国内では、EU東方パートナーシップ諸国との連合協定署名／仮署名を促進する議長国リトアニアに対するロシアの圧力との見方が流布。
- ビリニウスでEU非公式外相会合(ギムニツヒ)をはじめ多くのEU閣僚級会合が開催され、アシュトンEU外務安全保障政策上級代表、ラスムセンNATO事務総長、ケリー米 국무長官の他、EU各国要人の来訪が相次いだ。
- グリボウスカイト大統領は、11月のEU東方パートナーシップ首脳会合でのEU・ウクライナ連合協定への署名実現に向けて、ウクライナ首脳陣と積極的に会談を行い、活発な働きかけを実施。

## 内政

- 【10日】国会秋季会期が開始。秋季国会の主要議題は2014年予算、社会保険及び義務的健康保険基金関連予算。プトケビチュウス首相は、政府の優先事項はこれまでの事業の継続、2014年予算の増額、財政赤字の対GDP比を1.8%まで削減することと発表。
- 【10日】野党は、ガプシス国会副議長の不信任決議実施を要請する44議員の署名及び不信任決議案をゲドビラス国会議長へ提出。

【26日】グリボウスカイト大統領は、クビリウス前政権により削減された公務員給与及び年金への補償を行うとする国会の決定を承認。

【27日】支持率調査で、社会民主党が最も高い支持率を維持し、野党祖国同盟、秩序と正義党及び労働党が拮抗して支持率2位を競い合う結果。グリボウスカイト大統領、次いでプトケビチュウス首相が最も支持率の高い政治家である構図に変化はなし。

## 外交

【2日】クリバス外務副大臣はチヒクヴァゼ駐リトアニア・ロシア大使に対し、8月30日より開始されたカリーニングラード国境におけるリトアニア車両への差別的検査について説明を要請。9日、リンケビチュウス外相が同露大使に再度説明を求め、リトアニア外務省はカリーニングラードへの不要不急の渡航自粛を勧告。11日、リトアニア積荷貨物に対する入念な検査が開始され、13日、クリバス外務副大臣はチヒクヴァゼ大使を召喚し、迅速な解決を要請する口上書を手交。17日、リンケビチュウス外相はアシュトン外交安全保障政策上級代表、カラス欧州委員会副委員長、セメタ貿易担当欧州委員、フューレEU拡大担当欧州委員に対し、ロシアへ同措置の取り止めを求めよう要請する書簡を発出。欧州委員会は、ロシアへ迅速な制限措置撤廃を求め、然るべき措置を講ずるよう要請。

【3日】リンケビチュウス外相はヴィズビー(スウェーデン)を訪問し、NB8外相会合へ出席。NB8外相はシリアにおける化学兵器に関する共同声明及びEU東方パートナーシップに関する共同声明を採択し、シリアに関する声明を国連安保理議長へ送付。

【3日】リンケビチュウス外相は、EU議長国としてアルメニアが関税同盟へ参加するのであれば、EUとの自由貿易協定(FTA)は期待できないと発言。

【5日】グリボウスカイト大統領は、リトアニア訪問中のアシュトンEU外務安全保障政策上級代表と会談し、EU東方パートナーシップ首脳会合の意義及びEUと東方パートナー諸国の政治的な協力の重要性を強調。アシュトン上級代表とリンケビチュウス外相との会談では、欧州近隣政策における欧州対外活動庁とリトアニアの協力強化が強調され、オレカス国防相との会談では、12月のEU安全保障・防衛理事会に向けた準備について協議された。

【5日】グリボウスカイト大統領は、リトアニア訪問中のラスムセンNATO事務総長と会談し、定期的な軍事演習の必要性を強調。6日、両者はNATOエネルギー安全保障センターの開所式に出席。6日、ラスムセン事務総長はプトケビチュウス首相と会談し、国防予算の引上げ、共同軍事演習等について協議し、リンケビチュウス外相との会談では、EU・NATO協力の強化について協議した。

【5日】ビリニウスで共通外交・安全保障政策及び共通安全保障・防衛政策に関する議会間会合が開催され、グリボウスカイト大統領、アシュトンEU外務安全保障政策上級代表、ラスムセンNATO事務総長他が出席。12月のEU安全保障・防衛理事会に向けた準備、EUの外交・安保・防衛関連戦略及び優先事項、民主主義的価値観の促進、EU・NATO協力、EU東方パートナーシップ等について協議された。

【5～6日】ビリニウスでEU非公式国防相会合が開催され、ラスムセンNATO事務総長他EU各国の国防相が出席。オレカス国防相が議長を務め、EU安全保障・防衛理事会に向けた準備について協議された。

【6日】オレカス国防相は、リトアニア訪問中のマウロ伊国防相と会談し、防衛分野での二国間協力の強化を歓迎。

【6日】オレカス国防相は、リトアニア訪問中のハモンド英国防相と会談し、防衛及び安全保障分野での両国協力を歓迎し、EU戦闘群(EUBG)の効率化について協議した。

【6日】リトアニアを訪問中のリバク・ウクライナ最高会議議長は、グリボウスカイト大統領及びゲドビラス国会議長と各々会談。グリボウスカイト大統領は、ウクライナとの連合協定署名の重要性を強調し、ウクライナに対し署名に向けた課題解決を要請。リバク議長は、ゲドビラス議長との会談で、ティモシェンコ・ウクライナ前首相問題解決に向けた措置を約束。

【6～7日】ビリニウスでEU非公式外相会合(ギムニツヒ)が開催。アシュトンEU外務安全保障政策上級代表が議長を務め、ケリー米 국무長官、ブロック欧州議会外務委員会委員長等が出席。リンケビチュウス外相は、東方パートナーシップ諸国へのロシアの圧力に対する支援策の必要性、安全保障の新たな課題に国際社会が協調して取り組む重要性等を強調。アシュトン上級代表はシリア情勢に関する声明を发出し、国連安保理に対して更なる化学兵器による攻撃を防ぐため団結するよう求め、国連安保理が全ての必要なイニシアティブを取るよう要請。

【7日】リトアニア訪問中のケリー米 국무長官は、グリボウスカイト大統領と会談し、北欧・バルト地域の安全保障、NATOを通じた二国間協力、エネルギー問題等について協議。リンケビチュウス外相との会談では、シリア情勢、EU米自由貿易協定、EU東方パートナーシップ等について協議した。

【7日】リンケビチュウス外相は、リトアニア訪問中のナルバンジャン・アルメニア外相と会談。ナルバンジャン外相がアルメニアの東方パートナーシップ参加継続を希望する一方、リンケビチュウス外相はアルメニアの関税同盟参加決定はEU統合意欲の後退に繋がると懸念を表明。

【9日】リンケビチュウス外相は、リトアニア訪問中のフリック・リヒテンシュタイン外相と会談し、両国関係について協議した他、当国の2014～15年安保理非常任理事国選挙への立候補に対するリヒテンシュタインの支持に謝意を表した。

【11日】グリボウスカイト大統領は、リトアニア訪問中のバウシュ・トルコ欧州問題担当相と会談し、NATOにおける両国協力、二国間経済関係の促進等について協議し、EU議長国としてトルコのEU加盟プロセスへの支持を表明した。

【11～14日】ダライ・ラマが来訪。11日、グリボウスカイト大統領は、私的な会談としてダライ・ラマとの非公式会談を実施。12日、中国外務省は、アンタナビチエネ駐中国リトアニア大使を召喚し、大統領のダライ・ラマとの面会について説明を求めた。12日、ダライ・ラマはアダムクス前大統領と会談し、国会でランズベルギス元最高議会議長、デグディエネ国会副議長、アンドリキエネ欧州議会議員等と会談。13日、ダライ・ラマは一般向け講演会(有料)を実施。

【12日】チャグチャランPRT最終部隊がアフガニスタンのゴール県から帰還。

【12日】グリボウスカイト大統領はベルギーを訪問し、フィリップ・ベルギー国王と会談。二国間関係、若年層の雇用対策、安全保障問題、リトアニアEU議長国のこれまでの成果等について協議した。

【13日】カタルーニヤの報道機関ACNは、11日にカタルーニヤ州で「Baltic Way」(1989年バルト三国の市民が独立を求め「人間の鎖」で示威行為を行った)に倣う活動が実施されたことに関し、プトケビチュウス首相がリトアニアの前例が模倣されたこと及び平和・合法的な意思表示を歓迎すると述べた旨報道。16日、スペイン外務省は駐スペイン・リトアニア大使を召喚し、本件報道ぶりについて説明を要請。同日リトアニア外務省は、ACNがカタルーニヤ州独立問題に関するリトアニアの立場を偏って報じたことを懸念するとのプレスリリースを发出。17日、プトケビチュウス首相はACNが同首相の発言を歪曲して報じたことと遺憾の意を表明。

【17日】外務省は、16日付国連調査団報告書でシリアでの化学兵器使用が報告されたことについて、化学兵器の使用は重大な国際法違反であると非難し、法的拘束力のある国連安保理決議を期待するとの声明を发出。

【18日】プトケビチュウス首相はバチカン市国を訪問し、フランシスコ・ローマ法王と会談。両国関係について協議し、2018年に法王がリトアニアを訪問するよう招請。

【19日】米国訪問中のゲドビラス国会議長はベイナー米下院議長と会談し、2014年1月13日に当国を訪問するよう招請。

【19日】コソボ北部ズベチャンでEULEX車輛が発砲を受け、リトアニア人EULEX隊員のセナビチュウス税関職員が死亡。グリボウスカイト大統領、プトケビチュウス首相、リンケビチュウス外相他が哀悼の意を表明。

【20日】グリボウスカイト大統領はヤルタ会談へ出席するためウクライナを訪問し、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領と会談。EU・ウクライナ連合協定への署名を達成するため、ウクライナに恣意的司法の問題解決を要請。

【23日】リンケビチュウス外相は、EUがEU・ウクライナ自由貿易協定の署名により、批准手続きを経ずに暫定的な自由貿易協定が適用される旨を決定したと発表。

【24日】グリボウスカイト大統領はリトアニア訪問中のポンタ・ルーマニア首相と会談し、ルーマニア・モルドバ間ガス・パイプライン建設、EU議長国リトアニアのエネルギー分野の優先事項等について協議。

【25～26日】第68回国連総会へ出席したグリボウスカイト大統領は「ポスト2015開発議題」にて一般討論演説を行い、ロシアの直接の名指しは避けながらも、エネルギー等を自国の影響力拡大ツールとして使用することを激しく非難。リンケビチュウス外相は、EU議長国外相としてアシュトンEU外務・安全保障政策上級代表に代わり、武器貿易条約及び核兵器廃棄に関する会合にEU代表として出席。同外相、アシュトン上級代表及びフューレ拡大・欧州近隣政策担当欧州委員は、EU東方パートナーシップ6カ国外相と会談し、ビリニウス首脳会合について協議。

【26日】グリボウスカイト大統領はレアンカ・モルドバ首相と会談し、モルドバが改革を継続する重要性、査証自由化の進展、ロシアへのエネルギー依存の低下等について協議。

【27日】マズローニス環境大臣は、全EU加盟国に対し10月10～11日に熊本県で開催される水銀条約外交会議への参加及び「水銀に関する水俣条約」への署名を呼びかけた。

## 経 済

【4日】世界経済フォーラムは2013～14年の国際競争力ランキングを発表し、リトアニアは国別順位で148カ国中48位(2012年は45位)。ダルグジャイテ・インベスト・リトアニア長官は、公的機関の官僚主義、税制及び厳しい雇用規則が外国投資を誘致する上での障害となっている、一時的雇用契約におけるより柔軟な労働基準の導入が必要と発言。

【10日】財務省は、2013年の経済成長率予測を対GDP比3%から3.7%へ上方修正。2014年の成長率は3.4%と予測。

【13日】国会は、リトアニアの3つの国際空港(ビリニウス、カウナス、パランガ)を一体化し、ビリニウス空港が中心となり運営を行うとの法案を可決。

【13日】ビリニウスで非公式ユーロ圏財務相会合(E COFIN)が開催され、銀行同盟、中小企業への資金援助、EUの経済見通し等について協議。シャジュウス財務相は、銀行同盟を迅速に進めるためにSRMの早期合意が重要と強調。グリボウスカイト大統領はダイセルブルーム・ユーログループ議長と会談し、ユーロ圏の経済情勢、リトアニアのEU議長国としての主要財政課題、リトアニアのユーロ導入につき協

【16日】シンケビチュウス運輸通信大臣は、カウナス・タリン間を連結するRail Baltica 2プロジェクトを実施するバルト3国共同企業の設置合意に署名。

【25日】OECDとの緊密な協力関係構築及び新規加盟に向けた2014～15年行動計画が閣議承認され、OECDの法的枠組への参加、委員会及び作業部会等への参画が決定。

## エネルギー(含むビサギナス原発プロジェクト)

【6日】ミラー露ガスプロム社長は、リトアニア・ガス社の役員理事会出席のためリトアニアを訪問。プトケビチュウス首相との会談では、ガスプロム側からガス価格の引下げが提案され、専門家による交渉が開始。グリボウスカイト大統領は、ガスプロムはストックホルム国際仲裁裁判所事案で敗訴することを承知しているため、性急にこのようなガス価格引下げ提案を行った、リトアニアにはガスプロムとの新たな長期契約は不要と発言。

【10日】プトケビチュウス首相は、クライペダ港に2014年末に完成するLNGターミナルへのLNG供給元について、現在入札が進んでおり、本年末までには結果が出ると発言。

【16日】環境省シェールガス調査・採掘に関する入札審議委員会は、政府に対し米シェブロン社を落札企業とし、同社へ調査・採掘の許認可を発行するよう提案。首相府前ではシェブロン社のリトアニア参入に反対する市民約50人が抗議集会を実施。

【19～20日】ビリニウスでEUエネルギー大臣非公式会合が開催され、EU域内エネルギー市場統合、EUの域外エネルギー政策等について協議。

【25日】政府は、ガスプロムがAmber Grid社の株式売却を決定したと発表。

## 日本との関係

【6～22日】内閣府国際青年育成交流事業で18人の日本青年団が当国を訪問。17日には、白石大使は本件事業参加日本・リトアニア青年団他を公邸へ招き、懇談会を実施。

【10～15日】在リトアニア日本大使館は日本文化フェスティバル実行団体KOIと共催でビリニュスにて「now Japan 2013」を開催。各種レクチャー・デモンストラーション、コンサート、コスプレコンテスト等が実施され、市民3,100人以上が参加。14日には、白石大使はKOIに対して在外公館長表彰を実施。

【18～20日】ビリニュスでリトアニア宇宙協会主催「多極化する世界の中での宇宙経済」と題する第4回宇宙開発会議が開催され、川口淳一郎宇宙航空研究開発機構シニアフェロー・宇宙科学研究所教授が講演を実施(白石大使出席)。

【21日】西村内閣府副大臣がリトアニアを訪問し、政府要人との意見交換を実施した他、カウナスの杉原記念館及びヴィタウタス・マグヌス大学アジア研究センターを視察。

この資料は、リトアニアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は在リトアニア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。







